

平成 23 年度 シンポジウム「近代建築史の最先端」 第 7 回

近代(日本)×近代(西洋)－「モダニズム」研究の深化へ向けて

2012 年 3 月 5 日

日本建築学会
建築歴史・意匠委員会
近代建築史小委員会

036

0)

012

《 プ ロ グ ラ ム 》

1 主旨説明 西澤泰彦(名古屋大学)

2 各論発表

—— PART I フランスの近代建築の受容をめぐる ——

1) オーギュスト・ペレと日本—コンクリートの詩情と景観の非切断性—

吉田綱市(横浜国立大学)

..... p. 1

2) 森田慶一による近代建築の受容

田路貴浩(京都大学)

..... p. 7

モデレーター

笠原一人(京都工芸繊維大学)

—— PART II 「ル・コルビュジエと日本」という問題機制 ——

1) モダニズム建築と受容研究—ル・コルビュジエの事例など

南明日香(相模女子大学)

..... p. 15

2) アテネ憲章と丹下研究室

豊川斎赫(国立小山工業高等専門学校)

..... p. 23

モデレーター

田所辰之助(日本大学)

3 パネル・ディスカッション—「モダニズム」研究の深化に向けて

司 会

千代章一郎(広島大学)

パネラー

各論発表者

4 まとめ

内田青蔵(神奈川大学)

<主催> 日本建築学会 建築歴史・意匠委員会
近代建築史小委員会

<日時> 2012年3月5日(月) 13:00~17:00

<会場> 建築会館3階308会議室